

「復旧・復興」コース

【各講義の内容と学習目標】

オンデマンド講義：R7年1月27日（月）～ 3月2日（日）  
対面演習：R7年2月19日（水）

形式	単元No.	単元名	単元の概要	講義No.	時間	動画 時間	講師	学習目標
オン デ マ ン ド	講 義	0	コース紹介	0	10分	10分	加藤 孝明（東京大学）	
		1	復旧・復興総論	1	100分	19分 17分 23分 13分 28分	中林 一樹（明治大学）	・復旧・復興の理念と構成を説明できる。 ・災害復興の事例に学ぶ復旧・復興のプロセスと法制度を説明できる。 ・事前復興の意義と可能性を説明できる。
		2	公共基盤の復旧 （基盤復興Ⅰ）	2-1	3分	3分	中林 一樹（明治大学）	・公共基盤の被災の復旧の概要と事例を説明できる。
				2-2	33分	33分	岡村 政廣・大畑 大志郎（内閣府）	・公共基盤の復旧プロセスと対策計画を説明できる。
				2-3	49分	27分 22分	細川 晋 （国土省 元 水管理・国土保全局 防災課）	・公共基盤の復旧・復興事業制度とその概要を説明できる。
		3	仮設住宅（生活復興Ⅰ）	3-1	24分	24分	安東 和繁（元 内閣府）	・仮設住宅の供与の目的と制度概要を説明できる。
				3-2	22分	22分	緒方 雅一（熊本県）	・賃貸型応急住宅（みなし仮設住宅）の仕組みと業務の概要を説明できる。
				3-3	53分	53分	緒方 雅一（熊本県）	・建設型応急住宅の仕組みと業務の概要を説明できる。
				3-4-1	39分	23分	小路永 守（熊本県）	・応急仮設住宅の管理運営の取り組みと課題を説明できる。
				3-4-2		16分		
				3-5	31分	31分	細貝 和司 （NPO法人 Dawn of Niigata）	
		4	コミュニティ再生 （社会復興）	4	76分	46分	稲垣 文彦 （NPO法人ふるさと回復支援センター）	・地域社会の再生や活性化の意義が説明できる。
						30分		・地域社会の再生の取り組みのプロセスが説明できる。 ・地域社会の再生の事例や制度（復興基金の使い方等）を説明できる。
		5	市街地の復興まちづくり （基盤復興Ⅱ）	5	65分	36分	畑 文隆（元 兵庫県西宮市環境局）	・被災市街地の復興とその意義を説明できる。
						29分		・被災市街地の復興まちづくりにおける地域住民の参加の意義と課題を説明できる。 ・地域住民の意向確認など復興モニタリングの重要性和事前復興の可能性を説明できる。
		6	住まいの再建（生活復興Ⅱ）	6	65分	31分	太田 亘（UR都市機構）	・被災者による住まいの再建の理念と支援の概要を説明できる。
						34分		・被災住宅・被災マンションの再建プロセスを説明できる。 ・災害公営住宅の意義と留意点について説明できる。
		7	地域産業の復興と雇用確保 （産業復興）	7	63分	34分	藤田 千晴 （東京都中小企業診断士協会）	・地域経済の被災事例とその課題を説明できる。
						29分		・地域産業復興の視点と支援のあり方を説明できる。 ・被災地における地域産業の復興事例と事業手法を説明できる。
対 面	演 習	8	復興まちづくり イメージトレーニング	8	350分	350分	加藤 孝明（東京大学） 岸田 暁郎・村木 崇洋 （日本能率協会総合研究所） 竹本 加良子（サイエンスクラフト）	・復興への備えの必要性を知る。